



学校の様子は、「八幡小学校ホームページ」でくわしく見ていただけます。「八幡小学校」で検索し、ぜひご覧ください。毎日更新中です!

「道徳」の授業

10月15日は、更埴教育課程研究協議会という、学校職員の研修でした。八幡小学校は、道徳の授業を公開しました。この日は6年生だけが登校し、授業を行いました。50名もの先生方が参観しますので、会場は体育館です。この特設会場で行われた授業は、

「6年生の責任って?」という題材で、よりよい学校生活・集団生活の充実をねらったものでした。

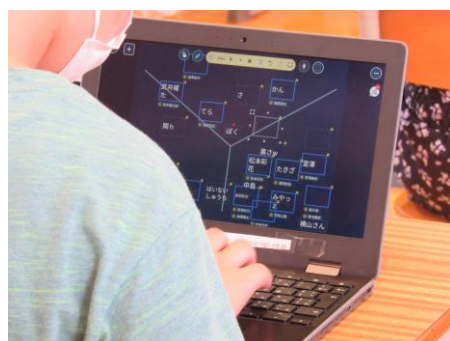


清掃時間後、ぞうきんが置きっぱなしだったことに気づいたぼくは、「だらしないので、6年生が見回って、きれいな学校にしたい。」と提案します。すると山本さんが、「美化委員の仕事だと思います。与えられた委員会の仕事をしっかりやるのが6年生の責任だと思います。」と意見します。ぼくが、「委員会に任せきりでなく、できるようにことをやるのが、最高学年としての責任だと思います。」と答えました。

すると、横山さんが「どちらも高学年がやれば、学校はきれいになるのかもしれませんが、でも、6年生が卒業してしまったら、また元にもどるのでは?それは本当にきれいな学校になったといえるでしょうか。私は、6年生が片付けるのも、美化委員会が片付けるのも反対です。」と発言しました。教室は一瞬、しんとしました。

ぼくは、何が6年生としての責任で、何ができるのか、頭の中が混乱してしまいました。

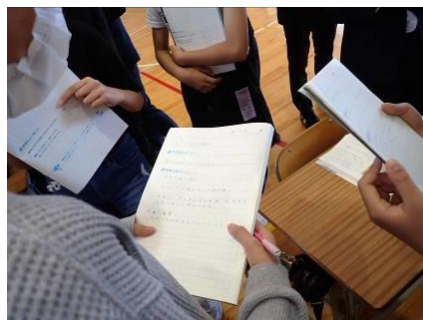
担任の先生は、授業の始めに「95」という数字を提示しました。残された登校日数です。まず、自分はこの3人のどの意見に共感するか考えました。ここで、1人1台のパソコンを使うことで、一目でだれがどんな考えを持っているか明らかになりました。



この後、子どもたちは、「横山さんは、何を言いたいのか。」や、「学校生活残りの95日間で自分にできることは何だろう。」などについて友達と意見交換をし、集団における自分の役割を自覚して、責任を果たし、学校生活を充実させようとする実践意欲を膨らめていきました。

昨年度より道徳は、「特別の教科 道徳」として年間 35 時間、教科書を使っての授業が行われています。本校では友だちとつながって、「自分っていいな」「友だちっていいな」を感じ、伝え合って学ぶことを目指して、日々の授業づくりをしています。

この日の 6 年生も、先生の話をよく聞き、友だちと自然に関わり合う中で、自分の考えを深めていました。参観された先生方からも 6 年生のよい学びの姿を見つけていただくことができました。



- ・先生の発問によって、動き、交流する姿、先生の問い返しによって、考えを深める姿。日常的にそのような雰囲気の中で友だちとも先生とも安心して関わり合っているのだなと感じる温かな授業でした。
- ・自分の考えを大切にしながら、友の考えも尊重して考えを深めていく姿が多く見られました。
- ・全体での発表の場面で、ほぼ全員が体を向けて話を聞く姿に感動しました。
- ・1人でも、ペアでもグループでも、話し合いができ、相手の意見もしっかり聞き、それを受けて自分の考えを深めていく姿が日頃から、そういう活動をしているんだな、と感心しました。
- ・子どもの心と、人に対するフォローが自然にできる実践力が育っているのだから、短い関わりでも関わりやすさが表れていたと思います。安心してつぶやきが聞こえる学級のすばらしさに感激しました。

八幡小のすてきな子

9月の中旬、長野市にお住まいの方から八幡小学校にお電話をいただきました。

午後、県道 77 号を長野市の方に向かって車を運転していました。すると、志川のバス停の横断歩道で、低学年の男の子と女の子が立っていましたので、横断歩道の前で車を停止しました。対向車も止まりました。2人は横断歩道を渡りました。

すると、渡り終わった後、女の子が振り返って、対向車にお辞儀をし、その後自分の方にもお辞儀をしたのです。

振り返ってお辞儀をするだけでなく、両方の車に向かってお辞儀をしたことにびっくりしました。このような素晴らしい行いは、学校が教えたのでしょうか。家で教えていたのでしょうか。とても立派な行いなので、わざわざお電話した次第です。

もちろん、学校でも「止まってくれた車の運転手さんに、お礼をしましょう。」と指導はしていますが、きっとご家庭でも教えてくださっているのだと思います。

最近、1 年生の下校の様子を見ていたら、横断歩道を渡り終わった後、やはり最後尾の子が後ろを振り返り、車の運転手さんにおじぎをする姿がありました。うれしい光景でした。

